

厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）
分担研究報告書

新型コロナウイルス感染症に対する院内および
施設内感染対策の確立に向けた研究

研究分担者 高山 義浩 沖縄県立中部病院感染症内科 副部長

研究要旨

新型コロナウイルス感染症は、2022年3月までに6波を数える全国的流行を認め、主として大都市圏を中心に流行が繰り返されている。診療所では、発熱外来に限らず新型コロナウイルス感染も疑われる患者の受診を想定する必要があるとあり、訪問看護ステーションは感染者や濃厚接触者のケアが求められる。また、保健所等と連携して、新型コロナウイルス感染を同定するためのPCRセンターを設置することが、地域の医師会や医療機関に求められることもある。本分担研究では、診療所領域の好事例を集約し、実地での感染対策についての実践的に役立つ資料を開発するとともに、これらの研究成果をもとに、オンラインでの研修会やガイドライン作成に協力するなどして、感染対策の普及に努め、地域ごとの特性を踏まえた活用について提言した。

研究協力者：

新屋洋平（沖縄徳洲会中部徳洲会病院在宅・緩和ケア科）
山中裕介（沖縄県立宮古病院附属多良間診療所）
岩本大希（WyL株式会社/ウィルグループ株式会社）
和田孝子（富士見高原病院感染管理室）
山田徹（東京医科歯科大学医学部附属病院総合診療科）
狩俣洋介（かりまた内科医院）
米盛輝武（浦添総合病院救急集中治療部）
小林隆太郎（日本歯科大学附属病院歯科口腔外科）

A. 研究目的

2019年12月に中国武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症は、世界各地へと感染が広がり、大きな被害をもたらしてきた。国内においても、2022年3月までに6波を数える全国的流行を認めている。

主として大都市圏を中心に流行が繰り返され、2022年3月までに650万人以上の陽性者を確認し、2万8千人以上が死亡している。

一方で、ワクチン開発は迅速に進められ、国内でも3回目までは順調に進んできた。抗ウイルス薬や人工抗体薬など新しい治療法も定着してきている。ただし、いずれもパンデミック克服の決定打とはならないため、当面は、それぞれの現場で感染対策を強化するこ

とが求められる。

診療所では、発熱外来に限らず新型コロナウイルス感染も疑われる患者の受診を想定する必要があるとあり、訪問看護ステーションは感染者や濃厚接触者のケアが求められる。また、保健所等と連携して、新型コロナウイルス感染を同定するためのPCRセンターを設置することが、地域の医師会や医療機関に求められることもある。

領域別の新型コロナウイルス感染症対策に関する本研究において、本分担研究では、診療所領域の好事例を集約し、実地での感染対策についての実践的に役立つ資料を開発する。

B. 研究方法

一般診療所における感染対策について、その実践手順について、新型コロナウイルス感染症の外来および在宅医療に関わった経験のある医師により実践例を紹介した。また、離島に求められる追加的対策について、離島診療所の医師により実践例を紹介した。

訪問看護ステーションなど在宅医療分野における感染対策について、感染管理看護師および訪問看護ステーションの看護師により実践例を紹介した。

PCR検査センターについて、都市部および地方都市において設置に関わった担当者により実践例を紹介した。

また、2021年度には、これらの研究成果をもとに、オンラインでの研修会やガイドライ

ン作成に協力するなどして、感染対策の普及に努め、ウイルスの変異株の特性なども踏まえながら、地域ごとの特性を踏まえた活用について提言した。

(倫理面への配慮)
とくになし

C. 研究結果

一般診療所における新型コロナウイルス感染対策、離島診療所における追加的感染対策の実例、在宅医療分野における新型コロナウイルスへの対策、都市部におけるPCR検査センターの開設、地方都市における地区医師会が運用するPCR検査センターの運用について、それぞれの担当者からの聞き取り、現場の視察を行い、得られた情報をふまえて手引きを作成した。

2021年度は、日本プライマリ・ケア連合学会による「新型コロナウイルス感染症 診療所・病院のプライマリ・ケア初期診療の手引き」、日本在宅ケアアライアンスによる「新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に対する医療提供プロトコル」の作成および改定に分担研究者らが参加し、本研究の成果を反映させて普及に協力した。また、地域からの要請に応じて、分担研究者らがオンライン研修等を実施した。

D. 考察

全国的な流行を繰り返しながら、新型コロナウイルスの軽症者や濃厚接触者の診療やケアが日常的に求められるようになっている。とくに、病床がひっ迫した状況では、中等症以上の患者であっても在宅や施設での療養支援が求められる状況も発生している。また、PCR検査センターは各地に設置され、多くは民間事業者に移行したり、一部は自治体による運用が続いている。

本分担研究で作成した手引きや協力したガイドラインについては、こうした場面における現場の担当者らの感染対策に活用されている。

E. 結論

本分担研究では、診療所領域の好事例を集約し、実地での感染対策について実践的に役立つ資材を開発した。エビデンスが限られた中で、混乱しがちな新興感染症への対策であ

るが、好事例を中心にして手引きを作成することで、医療従事者と患者の安全を守りながら、診療とケアを実践することに役立っている。

F. 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載。

G. 研究発表

1. 論文発表

高山義浩. 高齢者における COVID-19 感染予防. *Geriatric Medicine (老年医学)* 60(2): 127-130, 2022.

高山義浩, 新屋洋平. 在宅医療における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への対応. *Medical Practice* 38(1): 87-90, 2021.

高山義浩. 新型コロナウイルスの流行と沖縄県における対策. *医学のあゆみ* 276(1): 45-49, 2021.

高山義浩, 利根川恵子. 新型コロナウイルス介護現場への影響 PART 2 介護現場における新型コロナウイルス対策 Q&A. *おはよう 21* 31(7): 28-29, 2020.

Yoshihiro Takayama, Kenji Mizumoto, et al. Implementation of SARS-CoV2 Monitoring and Screening test using RT-PCR in Okinawa prefecture, Japan, 2021. DOI:

<https://doi.org/10.51094/jxiv.5> (投稿中論文)

2. 学会発表

高山義浩. 地域で求められる新型コロナウイルスの感染対策. 日本皮膚科学会総会. 2021年02月03日.

高山義浩. 医療機関に求められる新型コロナ

ウイルスへの感染対策. 日本婦人科腫瘍学会
学術講演会. 2021 年 02 月 22 日.

高山義浩. 新型コロナウイルスの流行と対策.
日本呼吸器学会学術集会. 2021 年 2 月 22 日.

高山義浩. 新型コロナウイルスの流行と地域
の取り組み 沖縄県の経験から. 日本感染看
護学会学術集会. 2021 年 07 月 08 日.

高山義浩. 新興感染症対策における自治体行
政との連携. 環境感染学会学術集会. 2021 年
07 月 30 日.

高山義浩. がん患者のための新型コロナウイ
ルス感染予防. 日本がんフォーラム. 2021 年
08 月 10 日.

高山義浩. 地域で取り組む医療福祉の連携.
医療福祉連携フォーラム. 2021 年 08 月 22 日.

高山義浩. 感染症に強い地域社会をめざして.
へき地・離島救急医療学会学術集会. 2021 年
11 月 06 日.

高山義浩. 新型コロナウイルスの流行と地域
連携. 日本緩和医療学会九州支部会. 2021 年
11 月 20 日.

高山義浩. 沖縄県における新型コロナウイル
ス流行への取り組み. 日本循環器学会学術集
会. 2021 年 12 月 30 日.

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

